

研究主題「子供×発見」 子供『が』発見する図工の授業・子供『を』発見する教師の目・子供『と』発見する多様な図工の価値 目指す児童像「自分の感覚で発見することを楽しむ子」

I 団体の概要（通称：都図研・tozuken）



都図研とは？⇒東京都図画工作研究会の略称。

東京都各区市町村の教育研究会図工部員、及び新たに東京都公立小学校の図工専科の集合体が、「東京都図画工作研究会（略称：都図研）」である。全国組織「全国造形教育連盟（略称：全造連）」や「全国小学校図画工作教育連盟（略称：全小図連）」、また、「関東甲信越静地区造形教育連合（略称：関ブロ）」の構成団体でもあり、他府県との造形交流、他校種との交流も継続している。全国に約 1800 人いる図画工作専科教諭の約 1300 人が都図研の会員。昭和 23 年（1948 年）に結成され、2008 年度で創立 60 年を迎えた。毎年 1 回、全 8 ブロック地区構成からなる都図研大会を開催。自主的で自由な精神を伝統に研究活動を継続している。

都図研の最新情報は『都図研公式 Web <https://tozuken.themedia.jp>』で発信中！

III 研究の目的・内容

研究構想図にある最上位目標「子供も大人も喜びあふれる図工の授業を追求して発信する」とは、OECDの「ラーニング・コンパス 2030」でも取り上げられている「ウェルビーイング」という概念から、子供だけでなく大人にも必要なものだと考え、「子供も大人も」と設定した。研究主題「子供×発見」は、「子供『が』発見する授業づくり」「子供『を』発見する教師の目」「子供『と』発見する多様な図工の価値」という視点を包括している。子供は図工の授業だけでなく、日常生活の中でたくさんの「初めて」に出会う。図工の授業を通じ、多様性を育みながら豊かに成長して欲しいという教師の願いの実現に向け、子供たちにとっての「初めて」の場をどのようにつくり提案するかを今年度の研究の核とした。『教師の在り方を見つめ直し、子供たち自身が発見することを前提として授業改善を行うことで、子供たちは自らの良さを発見し、新たな意味や価値をつくりだすだろう。』という研究仮説の下、研究授業での視点を 3 つ設定した。

★視点①「子供『が』発見する」

学びの主体はあくまで「子供」である。教師主導型・師範型・講義型のトップダウン型の授業ではなく、ボトムアップ型の授業づくりを構築する。子供が「形や色、ものやことに対する造形的な実感」や「自他の表現の価値」を発見できる授業を提案する。

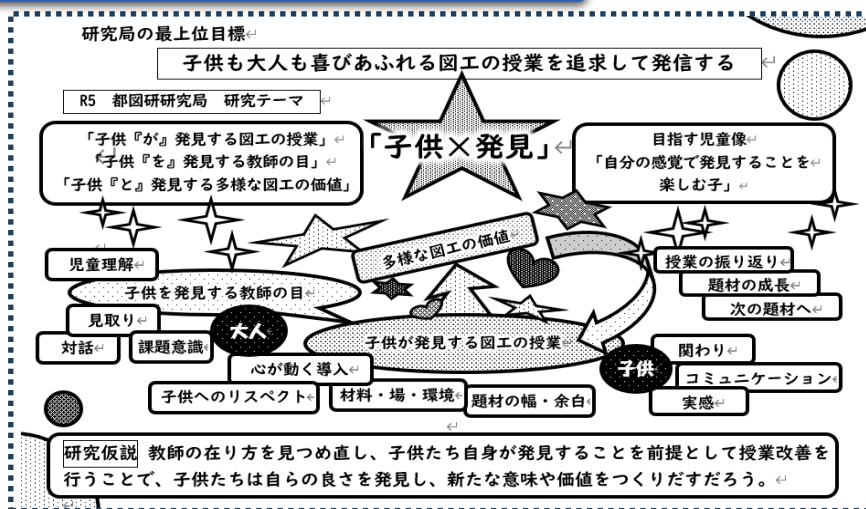
★キーワード：子供へのリスペクト・心が動く導入・言葉・場の設定・題材の幅・

余白・実感・関わり（人・もの・こと・環境）・コミュニケーション・身体性

★視点②「子供『を』発見する教師の目」

一人一人の子供に対しての児童理解を基に、多くの対話を通して、子供が自分の思いを見付けるひらめきの瞬間、感動する瞬間、新たな価値を見つけた瞬間などについて、教師が子供の活動を的確に「見取り」、教師自身の感度を高める。目に見えるものだけではなく、子供の内側にあるものを汲み取ったり、その子にとって意味のある造形的な活動を価値付けたりしながら、

II 研究の構想（研究主題：子供×発見）



Ⅲ 研究の目的・内容（つづき）

一人一人の造形活動から見える教師側の課題意識や児童理解を大事にする。

★キーワード：対話・児童理解・目に見えないもの・今の社会、子供への課題意識

★視点③「子供『と』発見する多様な図工の価値」

「子供の学びを基にした題材の価値」とその先にある「図工の可能性（学習指導要領のその先へ向かう）」を発見したい。子供の学びを基にした題材の価値は、課題意識を基に行った授業実践を振り返り、子供の姿を捉え直すことで見えてくるものである。実践とねらいの整合性を検証し、教師自身が常に授業内容の振り返りを行い、その結果として図工という教科全体の多様な価値が新たに生まれていくと考える。授業の中で子供たちが見付け出す価値（＝図工の新たな価値）を、教科研究を通じて発見する。

★キーワード：図工の未来、子供の未来

※研究局による成果と課題は、年度末発行の「都図研報告書」にて公開する。（発行：令和6年3月末）

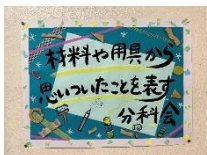
Ⅳ 団体の取組み（令和5年度）

●令和5年度 東京都教育委員会研究推進団体支援事業・実技研修会

『絵に表すについて考える』 研修テーマ 「図工で培う力を考える」

「子供が感性を働かせ、自分の力でつくりだそうとする図工の授業改善」（指導と評価）

子供たちの『絵に表す』活動の始まりや過程を「感じたこと想像したことから表す」「見たことから表す」「材料や用具から思い付いたことを表す」の3つの視点で見つめ直すことで、どのような力を発揮しているのか、その学びや子供と絵との可能性を探っていく実技研修会を実施した。第1部では、参加者が、低・中・高学年の発達段階に応じた学びのつながりを考えたり、グループトークで様々なアイデアや考えに触れ、自分の実践等についても振り返りをしたりするなど学びを深め合った。第2部の全体会では、元都図研会長から「絵に表す」をテーマにした講演会を実施した。



Ⅴ 研究大会：北多摩大会（令和5年度）

●第61回 北多摩大会 テーマ「図工の冒険 ―一人ひとりの一歩から―」

北多摩大会 図工の冒険 一人ひとりの一歩から



日時：令和5年12月8日（金） 9：00～16：45

会場：立川市立第一小学校

子供は、図工の時間に体全体の感覚を生かして、ワクワクしながら対象や事象と触れ合い、自分のイメージを広げて活動を展開する。子供が勇気をもって新しい世界に一步踏み出し、自分なりの価値を見付けていく姿を、「図工の冒険」とした。北多摩ブロック開催での第61回東京都図画工作研究大会では、北多摩17市で、沿線ごとに研究局を発足し、「第1分科会：子ども軸」「第2分科会：発見」「第3分科会：夢中」「第4分科会：探求」計4つの分科会で研究を進め、授業の中で子供の冒険する姿を検証しながら、議論を重ねてきた。

子供がものと触れ合い、自分のイメージの世界を駆け巡りながら、まだ見ぬ新しい世界をつくること。新たな価値の創造、新たな友達への気付き、そこから見えてくる自分らしさへの探求、発見など、図画工作を通じて自分の世界を冒険し、未知の世界を切り開いていく力を培う授業を提案する。大会では、子供一人一人が踏み出した挑戦のプロセスを大事にできる授業と基調提案、文科省教科調査官による講演を実施。大会研究の成果と課題は、年度末発行の「都図研報告書」にて公開する。（下記、二次元コードからも研究の経過を公開）

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都図画工作研究会	
代表者	所属	世田谷区立船橋小学校	
	職氏名	校長 奥長 英樹	
	連絡先	03-3482-2367	
事務局	所属	千代田立和泉小学校	
	職氏名	主幹教諭 堀江 美由紀	
	連絡先	03-3866-3939	
団体ホームページ	URL	https://tozuken.themedia.jp	二次元コード